

和 暦	西 暦	主 要 事 項
安政 元	一八五四	法海寺大乘院より出火、常光院へ飛び火、在家五軒焼失。
文久 元	一八六一	内海東端村に異国船警備のための砲台工事がはじまり、寺本村などから人足を出す。 皇女和宮の下向のため、寺本村をはじめ、加助村々などに人馬継立人足を調達。
元治 元	一八六四	寺本村をはじめ加助郷の庄屋達は、追加差上金の免除を請願。
明治 元	一八六八	堀之内の村役人が横須賀代官所へ尾張藩の軍用金賦課についての異議申立を提出（四月）。
明治 二	一八六九	画人、立松翠濤（八幡）海部郡富田村に生まれる（二月）。
明治 四	一八七一	廻間村に曲淵八次郎、横井小平次、横井三五郎なる土族が帰農の為、土地を要求。
明治 五	一八七二	学校設立勸奨により郷学校として、法海寺郷学校、古見郷学校、朝倉郷学校、佐布里郷学校、岡田郷学校が設立される（八月）。
明治 七	一八七四	泉養学校（堀之内・廻間村）中島学校（中島村）平井学校（平井村）三校分立。
明治 一一	一八七八	神功皇后社据置公許（二月一日）。 画人、早川梅亭（八幡）高横須賀に生まれる（十一月二三日）。 郡区編成により知多郡役所を半田に設置（十二月二〇日）。

和 曆	西 曆	主 要 事 項
明治一	一八七八	郡区町村編成法の公布（七月二〇日）に伴う各村の合併（一二月）。
		平井村、堀之内村、廻間村、中島村……………↓八幡村
		大草村、羽根村、北粕谷村、南粕谷村、大興寺村……………↓金沢村
		森村、鍛冶屋村、松原村……………↓日長村
		古見村、朝倉村……………↓新知村
明治一三	一八八〇	平井に御嶽神社創立。
明治一五	一八八二	画人、堀田大鶴（八幡）生まれる（三月一九日）。
		亥新田に分教場設置（現新田小）（二月）。
明治一七	一八八四	画人、平松梅洲（八幡）生まれる。
明治二〇	一八八七	画人、久野柳荘（八幡）生まれる（五月二五日）。
明治二二	一八八八	俳人、松湖（寺本）没す（二月）。
明治二三	一八九〇	木綿晒工場（明治四二年当時竹内初次郎経営）八幡村で創業（三月）。
明治二六	一八九三	八幡尋常小学校に高等科が併置される。
明治二八	一八九五	木綿晒工場（明治四二年当時竹内千代松経営）八幡村で創業（五月）。
明治三〇	一八九七	八幡村で徴兵検査に応じなかったため村民が処罰される（八月）。

和 暦	西 暦	主 要 事 項
明治三〇	一八九七	画人、杉江有昌（八幡）生まれる（十一月六日）。
明治三六	一九〇三	八幡村・新知村・日長村・大草浦の四漁業組合設立（六月）。
明治三七	一九〇四	八幡郵便受取所開設（二月一〇日）。
明治三八	一九〇五	八幡尋常高等小学校が現在の位置へ移転する（七月六日）。
明治三九	一九〇六	八幡村九五〇戸、四七二九人、新知村四五二戸、二六五八人、岡田町四四五戸、 日長村四八四戸、二三〇七人、金沢村五八五戸、三二一人。
明治四〇	一九〇七	日露戦争に八幡村で一九四人、旭村で五六人、岡田村で二七人従軍。
明治四一	一九〇八	戦死者は、各々二二人、三人、二二人。
明治四二	一九〇九	佐布里村、新知村、八幡村が合併して八幡村となる（五月一日）。
明治四四	一九一一	有限責任廻間購買販売組合、八幡村に設立。
		貝類の養殖を八幡漁業組合と知多郡西浦北部水産組合で実施。
		早川木綿合資会社の生木綿製造工場（製造と販売）八幡村で創業（二月）。
		佐織合資会社の生木綿製造工場（白木綿製造）八幡村で創業（九月）。
		八幡村に「⊕青物合資会社市場」開設。
		伊藤ムメ工場（織物）八幡村で創業（九月）。